

第1回 浦安市生涯学習推進計画策定懇談会 議事録

日時：平成28年11月7日（月）

午後2時～4時

会場：市役所4階 災害対策本部室

<出席委員>

野島委員、藤田委員、埴委員、吉野委員、福本委員、阿部委員、御前委員
影山委員、片倉委員、武澤委員、登内委員、工藤委員、野川委員

<欠席委員>

関谷委員

<事務局>

教育長、生涯学習部長、生涯学習部参事、生涯学習部次長、生涯学習課長
市民スポーツ課長、高洲公民館長、中央図書館長、市民スポーツ課課長補佐
生涯学習課課長補佐、同係

<内容>

1. 委嘱状の交付
2. 開会
 - ・教育長あいさつ
 - ・委員紹介
 - ・会長の選出・
 - ・副会長の指名
 - ・会長・副会長あいさつ
3. 議事
 - (1) 推進計画の策定概要について
 - ・策定の背景
 - ・計画の位置づけについて
 - ・策定体制について
 - ・策定スケジュール(案)について
 - (2) 現行計画について
 - (3) 基礎調査の実施について
4. その他
5. 閉会

1. 委嘱状の交付

各委員への委嘱状の交付が行われた。

2. 開 会

教育長より開会のあいさつが行われた。続いて、各委員の自己紹介、事務局の紹介が行われた。

事務局より会議、議事録の公開、過半数の委員の出席により会議が成立した旨の説明が行われた。

会長の選出・副会長の指名

委員の推薦により野島委員が会長に推薦され、了承された。続いて、会長より、副会長に藤田委員が指名され、了承された。

会長就任のあいさつのち、副会長就任のあいさつが行われた。

3. 議 事

(1) 推進計画の策定概要について

事務局より議事（1）について、資料 1-1～1-5 を用いて説明が行われた。

会 長	意見はあるか。
委 員	資料 1-3 にある教育振興基本計画とは何か。
事務局	教育基本法に基づき各自治体が策定する、市の教育施策の方向性を示す計画である。
委 員	スポーツ推進計画は現行の計画があるのか。なければ、新たに策定するのか。
事務局	現行のスポーツ推進計画はない。今回の生涯学習推進計画に包含するかたちで計画を策定したいと考えている。
委 員	上位計画も同時期に策定していくとの説明があったが、整合を取りながら計画策定を進めていくのか。
事務局	担当課と連携し、上位計画との整合を図っていく。
会 長	上位計画に盛り込む内容についても、こちらの議論等を伝えていけるとよい。

(2) 現行計画について

事務局より議事（2）について、資料 1-6 を用いて説明が行われた。

会 長	意見はあるか。
委 員	市民向けの調査について、前回の調査の回収率ほどの程度だったのか。また、今回はどの程度を見込んでいるのか。 調査対象者はどのように抽出するのか。
事務局	住民基本台帳に基づき無作為抽出を行い、回収率は 40%程度を想定している。前回も同程度の回収率であった。
委 員	アンケート調査に対してインセンティブを設けているのか。

事務局 調査協力に対するインセンティブは設けていない。
 委員 督促は実施するのか。
 事務局 はがき送付による督促を実施する予定である。
 委員 意識調査とニーズ調査どちらを主とした調査なのか。
 事務局 意識調査とニーズ調査のそれぞれを主旨の設問がある。どちらかに重きを置いた設計ではない。
 委員 10年先を見据えた調査であれば、市民の新たなニーズを掘り起こす調査であるとよい。また、今後浦安市がより魅力的なまちと思われるためのデータを収集する調査となるとよい。
 子どものスポーツの実施には親やメディアの影響が大きいと言われている。例えば新体操はメディアによって認知度が向上したと言われているが、そういった例を施策の中に活かしていくとよい。

(3) 基礎調査の実施について

事務局より議事(3)について、資料1-7を用いて説明が行われた。

委員 小中学生向けの調査ではどのように調査票を回収するのか。
 事務局 学校を通じて配付回収を行う。
 委員 HRでの回答と回収を依頼できれば、高い回収率が見込める。校長会に依頼できるとよい。
 事務局 事務局で対応を検討する。
 委員 平成22年にも調査を行っているが、回収率ほどの程度を見込んでいるのか。また記述式の回答が多いと回答者の負担が大きいのではないのか。
 事務局 資料1-7で項目を提示しているが、調査票は選択式とする。記述式の回答は一部のみとすることを考えている。回収率は40%程度を見込んでいる。
 委員 生涯学習や学習活動といった言葉は表現がかたいのではないのか。前回の調査で問題はなかったのか。
 事務局 言葉の説明を追記していることもあり、前回調査で問題はなかったと認識している。
 会長 前回調査からの経年変化を見る設問はあるか。
 事務局 経年変化を見る設問も考えている。
 事業者 言葉遣いやイラストを使用するなど、回答者に負担感を感じさせないように配慮する。経年変化も調査結果の分析に活用していく。

4. その他

- 会 長 ここからは懇談の時間とする。各委員、日頃の活動の中で感じている課題等について意見交換をしていきたい。
- 委 員 施設利用者向け調査の対象者はどのように選定するのか。
- 事務局 公民館、浦安市民プラザ、郷土博物館、図書館の利用者に調査票を配布し、その場での回収を考えている。
- 委 員 スポーツ施設の利用者はどうするのか。
- 事務局 総合体育館、中央武道館を予定している。
- 委 員 満足度とは具体的にどのようなことを聞くのか。
- 事業者 施設の設備やプログラムなどいくつかの項目について、満足から不満足まで5段階で聞くことを考えている。
- 会 長 完成した調査票はどの段階で見ることができるのか。
- 事務局 調査実施前に委員に郵送する。
- 委 員 調査票の原案を見て具体的な意見を言えるとよい。
- 委 員 競技スポーツではなく、公民館で行う運動や学校施設開放を利用していない層の運動やスポーツの実施状況まで広く聞けるとよい。
- 委 員 学校体育施設開放では、個人的な利用はほとんどなく、既存の団体に利用枠が埋まっているという実態は浦安市に限らずあると聞く。公民館での運動など、競技スポーツ以外の市民の取組を聞けるとよい。また、公園など、スポーツ専用の施設でない場所での運動やスポーツの実施状況を聞けるとよい。調査の効率化にあたっては、マークシートを活用するという手段もある。
- 委 員 公民館でも運動が多く行われている。競技スポーツに限らず、市民の様々な取組を拾い上げる調査となるとよい。
- 委 員 道路でランニングをする人も増えてきており、広い意味では道路もスポーツ施設と言えるのではないか。
- 委 員 老人クラブ会館でも様々な取組が行われている。既存のスポーツ施設に限らず、広くアンケートを取れるとよい。
- 委 員 無理に急いだスケジュールで調査を実施しなくてもよいのではないか。
- 委 員 現行計画の事業評価や課題の整理はできているのか。それらの結果もふまえて懇談会の意見をあげられるとよい。
- 会 長 市で毎年行っている事業評価についても、懇談会で意見交換を行っていただけるとよい。事業評価やアンケート調査の結果を元に、今後の計画の課題を整理していくこととなる。
- 委 員 今回の調査にどのような成果を求めるのか。

会 長 次期計画の施策実施のバックデータをして位置づけられるのか。

事務局 施策のバックデータとして整理する。計画書にも結果を抜粋して掲載する予定である。

会 長 データも提示されたわかりやすい計画書となるとよい。また、親しみやすい写真なども掲載できるとよい。

委 員 民間のスポーツ施設や文化施設も計画の対象となるのか。広い意味での生涯学習であれば、あらゆる場所が対象となる。

委 員 スポーツが行われる場所について意見を聞くことは重要である。また、スポーツにかかるお金についても聞けるとよい。

事業者 ご意見を参考に調査項目を検討する。

会 長 以前、市の別の分野の調査で可処分所得についての設問があった。スポーツ分野の可処分所得を聞く設問もあるとよい。

委 員 アンケートの結果は市民のニーズと捉える事もあると思うが、調査結果に基づき施設が建設されることはあるのか。

会 長 一つの調査の結果だけで判断されることはないが、市民の声によって市内の各地区に公民館が建設された経緯もある。

事務局 アンケートなど市民の声に基づき施設整備が進められることもある。また、公民館の事業は市民のニーズに基づいて計画が立てられ、取組を充実してきている。

委 員 国際交流や異文化交流については、この計画の対象とならないのか。

事務局 生涯学習の範囲は広いが、この計画では社会教育、文化芸術、スポーツを中心に考えていく。2020年東京オリンピック・パラリンピックは分野横断的に捉えて、国際交流の所管課とも連携し、事業等が重複することないように整合を図っていく。

会 長 今年度計2回、次年度4回の懇談会で意見交換を行っていきたい。事務局からは懇談会前後でも適宜情報を提供してほしい。

事務局 次回は3月頃、アンケート結果の報告を予定している。調査の内容については作業部会の意見を整理し、作成したものを調査の前に委員に送付する。ご意見はその時点でいただけるとありがたい。

会 長 以上で第1回浦安市生涯学習推進計画策定懇談会を終了する。

5. 閉 会

事務局 次回懇談会は3月に実施する。詳細はおって報告する。